

平成30年度 第6回
都賀地域会議会議録

平成31年1月23日(水)
栃木市都賀総合支所別館大会議室

栃木市総合政策部
都賀地域づくり推進課

	と、学校の方からの指導もあり、16時くらいには利用している子どもたちへ帰宅するよう促している。そういった背景もあり、今回の資料に記載の通りの利用可能時間とした。
委員	了承した。
委員	集団検診について、当面の間都賀地域でも行うということによろしいか。
担当課	以前都賀地域会議から要望があり、当面の間都賀地域でも集団検診を行う予定である。
会長	これ以上質問・意見がないようなので、担当課への質問・意見を打ち切ることとする。またこれにて担当課には退席いただくこととする。
	— 担当課退席 —
会長	本議事に対して意見をまとめる。
委員	大平地域及び岩舟地域の健康福祉センターは地域の名前が残っており、今回の北部健康福祉センターも名称を「都賀・西方健康福祉センター」又は「西方・都賀健康福祉センター」というような地域の名称を含んだものにした方がいいのではないか。
委員	そういった話になると「都賀・西方」か「西方・都賀」のどちらにするか収集がつかない可能性があるため、北部健康福祉センターでいいと考える。
委員	栃木市全体で考えたときの北部ということから北部健康福祉センターでいいのではないか。
会長	名称については担当課の案のとおり北部健康福祉センターということとする。休館日、開館時間について意見はあるか。
委員一同	意見なし。
会長	それでは都賀地域会議としては、担当課の案のとおりとし、特に意見は具申しないこととする。またその旨を事務局から担当課へ報告することとする。
	②使用料・手数料の見直し方針について（情報提供）
	〈説明〉
会長	事務局に説明を求める。
事務局	資料等に基づいて説明する。
	〈質問・意見〉
会長	情報提供ということなので次の議題に移る。
	③なんでも相談窓口の設置について（情報提供）
	〈説明〉
会長	事務局に説明を求める。
事務局	資料等に基づいて説明する。

<p>会 長</p>	<p>〈質問・意見〉 情報提供ということなので次の議題に移る。</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>④平成31年度地域予算提案について 〈説明〉 事務局に説明を求める。 資料等に基づいて説明する。</p>
<p>会 長 委 員</p>	<p>〈質問・意見〉 事務局の説明を受けて、各委員より意見を求める。 地域の課題は思いつかないが、来年度地域予算でやる事業については、つがの里のハス池の問題がまだ残っているだろう。あとは高齢者、子ども向けの事業があるだろう。</p>
<p>委 員</p>	<p>毎年同じような事業になると思われるが、つがの里の総合公園化計画の進捗状況を知るべきだろう。それを聞き、都賀地域会議で出来るものを検討し、出来ることをやっていけばいいのではないか。またつがの里関係で、つがの里への案内看板が古くなっているので新調出来ればいいと考える。</p>
<p>委 員</p>	<p>昔と比較するとつがの里の花彩祭の際の来場者が減ってしまったように感じる。野外ステージに出演しても客が少なく、飲食店も昔と比較すると出店数が減少している。ステージで行っている催し物をふるさとセンター内の和室を活用して行うことは出来ないだろうか。次につがの里の中にベンチが少なく、腰掛けて休むことが出来ないことが問題だろう。あとはハス池、高齢者関係の事業の継続が考えられる。</p>
<p>委 員</p>	<p>また通学路に関して、街灯が少なく危険と思われる箇所がある。例を挙げると升塚の踏切から都賀公民館に向かう道の林が生えている辺りである。</p> <p>どこまでつがの里の關係に地域予算を割くことが出来るのかで他の事業は変わってくるだろう。つがの里以外で考えると、児童の登下校のサポーターがビブスを着て活動しているが、ビブスの購入等サポーターの自費で行っているところもある。これはある都賀地域の小学校のPTA会長から要望があった。都賀地域で統一したジャンパーを購入するなどを検討してもいいのではないか。</p> <p>また都賀地域内の事件事故等の情報が伝わりにくい。FMくららである程度分かることもあるが、事件事故の情報のメール配信の拡充等が出来ればいいと考える。</p> <p>次にふれあいバスについて、バスの乗降場に椅子がない箇所があり、足腰の弱い人にとって辛い状況である。椅子の設置を検討すべきである。</p> <p>次に車で狭い道路から大きい道路に出る際に歩道を横切ることになるが、歩道の手前で停車しない車が多く見受けられる。都賀地域会議で注意喚起の看板を設置できないか。</p> <p>最後に地域の若手の活動が見えない。地域の活動に集まるのは比較的高</p>

<p>委員</p>	<p>齢の方が多い。この現状を打破するために、都賀地域の若者を対象にアンケート調査を行うのもいいのではないか。現状を正しく把握し、解決策を検討していくべきだろう。</p> <p>今年度実施された横断端の購入について、地域の方々から好評をいただいている。ただ旗の利用状況が芳しくないと感じる。</p> <p>また小中学校の近くにスクールゾーンになっていない箇所が多く見受けられる。通学路の表示等対応できたら良いのではと考える。</p> <p>最後にあいあいプラザの利用状況を把握し、更なる活用を検討すべきではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>学童保育の支援事業を今年度実施しなかったことについて、残念であるという声があり、今後は継続して行うことが出来ればと考えている。</p> <p>また家中駅に自転車置き場がないことが問題だろう。置いてはいけないというだけではなく、置いてもいい場所を作ること検討すべきだろう。</p>
<p>委員</p>	<p>つがの里活性化事業について、ハスも年々状態が良くなっている。是非継続して欲しい。高齢者事業についても継続し、併せて子どもに関連する事業も行っていくべきだろう。</p> <p>つがスポーツ公園のテニスコートのネットの購入を検討してもいいだろう。</p> <p>またつがの里の体験交流館の利用状況が芳しくない。陶芸以外で利用している様子は見られないため、何か対策を講じることが出来ないか。</p> <p>次に先ほど他の委員からの意見にもあったが、ふれあいバスの乗降場に椅子を設置すべきだろう。以前椅子がないため、道路の縁石に腰掛けている人を見かけた。</p> <p>最後にまるまるまるごとつがまつりに関して、地域予算で補助金を出すことが出来ないことは理解しているが、何か支援が出来ないか検討していきたいと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>県道の栗野街道の道が狭く、道がカーブしている箇所も多く危険である。特に木の北の交差点から大柿の十字路にかけての区間である。片側でも歩道を整備できないか。</p> <p>また都賀地域内に街灯が少ないと感じる。</p> <p>次につがの里の活性化について、水源を確保するために井戸を掘って管理してもいいのではないか。併せてふるさとセンターのトイレが和式であるため洋式に改修し、同時に子ども用のトイレの整備も検討すべきだろう。またふるさとセンターの販売している物品の陳列の改善を検討してもいいのではないか。</p> <p>最後に最近つがの里で様々なイベントを行っている。そのイベントのチラシに勝道上人のことを記載してみてもどうだろうか。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者を対象としたイベントを継続し、地域住民が集まれる機会を提供していくべきだろう。</p> <p>またつがの里に椅子などの休めるところがない。それに加えてイベントが少ないことも集客出来ない理由だろう。この辺りは委員全員で考えてい</p>

委員	<p>くべきだろう。あと先ほどの委員の意見にもあったが、ふるさとセンターのトイレの改修は必要だろう。</p> <p>様々な事業を検討した上で、余った地域予算は全てハス池の整備に回すべきだろう。</p> <p>市で管轄している河川、用水路の適切かつ早急な修繕を希望する声が私の住む地域内で多く挙がっている。</p>
委員	<p>都賀 I C から南北に広がる工事中の県道について、その付近に自治会名を表示する看板がない。以前都賀町が作成し、現在も使用されている自治会名が記載された苺の看板のようなものがあつたらいいのではという声もある。</p> <p>また高齢者以外の人も含めた全てのあまり家から出る機会のない人たちが来ることが出来るようなイベントの検討をしたいと考える。</p> <p>最後に交通事故が少しでも減るように、交通安全教室の開催を検討すべきだろう。こちらは小学生だけでなく、地域住民全てを対象にしたものが望ましいだろう。</p>
会長	<p>先ほどの委員の意見にあった交通安全教室について、先日シルバー人材センターの会員を対象とした教室が行われた。こちらは体験型の教室であったが非常に有意義なものであった。栃木県は全国的にも運転マナーが良くないと言われている。教室に参加する年齢層を限定して複数回行うという方法も良いのではないか。</p> <p>都賀 I C から南北に広がる道路が近いうちに開通することになる。非常に利便性の高い道路であることから交通量の増加が予測され、それに伴い交通事故の危険性も上昇するだろう。橋本の交差点付近のセブンイレブンの辺りも生活道路と新しい県道が隣接しているところがあり危険だと考える。信号の設置が望まれるが、難しいだろう。また地域予算で行うことは無理だとは思いますが、横断注意の看板の設置を検討してもいいのではないか。</p>
委員	<p>交通指導員について、予算がないために交通指導員の諸経費が全く支給されない。改善が必要だろう。</p>
会長	<p>以上で全ての委員の発表が終了した。今後は今回出た意見を踏まえて、地域の課題や来年度の地域予算についてさらに検討していくことになる。</p> <p>本日の議事は全て終了したため、進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>平成 30 年度第 7 回都賀地域会議の開催について (説明) 資料に基づいて説明する。</p> <p>以上で本日の会議は終了とする。</p> <p>——閉会——</p> <p>(会議終了時刻 午後 8 時 3 2 分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長	大塚 紀通	副会長	山田 加代子
委員	若林 正二	委員	川津 美知子
委員	山本 文彦	委員	辻原 正信
委員	川上 由佳	委員	落合 正
委員	飯嶋 かおる	委員	鈴木 君子
委員	田島 富美子	委員	中田 和子

欠席者（委員）

委員 大塚 礼子

事務局

佐藤 真治	(都賀地域づくり推進課課長)
島田 和行	(都賀地域づくり推進課課長補佐)
福田 芳美	(都賀地域づくり推進課副主幹)
小林 康訓	(都賀地域づくり推進課主査)
小松 直人	(都賀地域づくり推進課主事)

その他出席者

渡辺 健一	(福祉総務課課長)
神長 利之	(福祉総務課課長補佐)
田中 勉	(福祉総務課主査)

別紙2 会議事項

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- ①北部健康福祉センターについて（意見聴取）
- ②使用料・手数料の見直し方針について（情報提供）
- ③なんでも相談窓口の設置について（情報提供）
- ④平成31年度提案分地域予算提案事業について

4 その他

平成30年度第7回都賀地域会議の開催について

平成31年3月27（水）午後7時～ 都賀総合支所 大会議室

5 閉 会

配付資料一覧

平成30年度第6回都賀地域会議次第

栃木市北部健康福祉センター（仮称）の名称、休館日及び開館時間並びに供用開始日について
（意見聴取）

使用料・手数料の見直し方針について（情報提供）

なんでも相談窓口の設置について（情報提供）

平成31年度提案分 地域予算提案スケジュール（案）